

慶應義塾大学SFC研究所
X.SDG Lab.



緊急性を増すSDGs達成への行動 ～SDGsハーフタイムからの戦略～

2023年12月

消費者庁消費者志向経営に関する連絡会

慶應義塾大学大学院教授

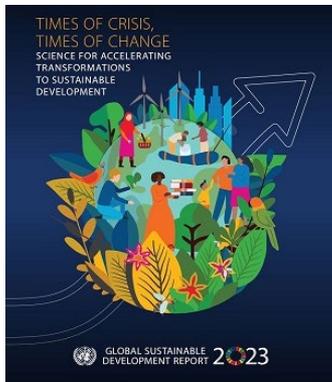
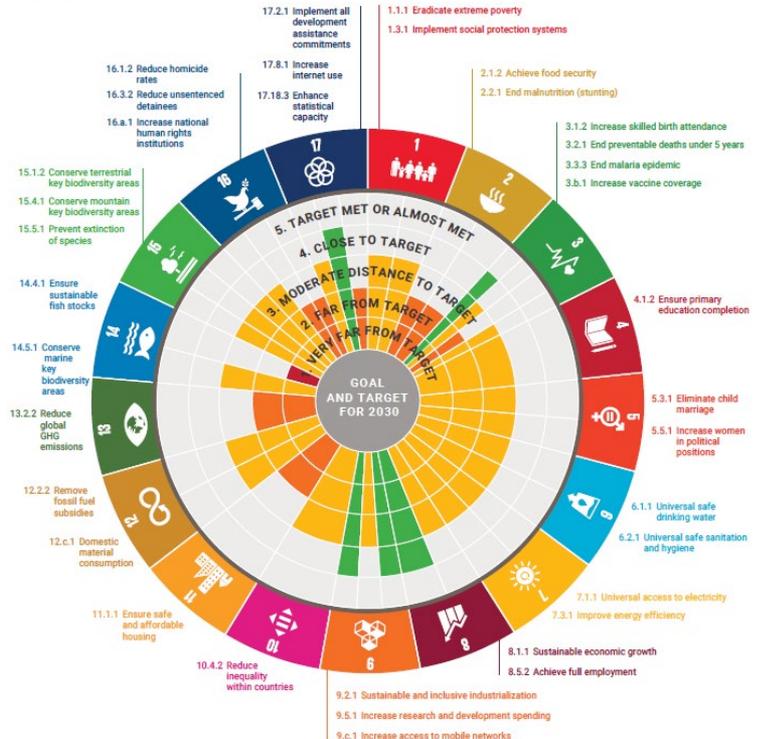
蟹江憲史

SDGsを巡る現状



- 持続可能な開発に関するグローバルレポートの公表（15人の独立科学者）
- 折り返し時点で15%の達成度
- 5/36
- コロナ禍、気候危機、戦争の影響が大きい

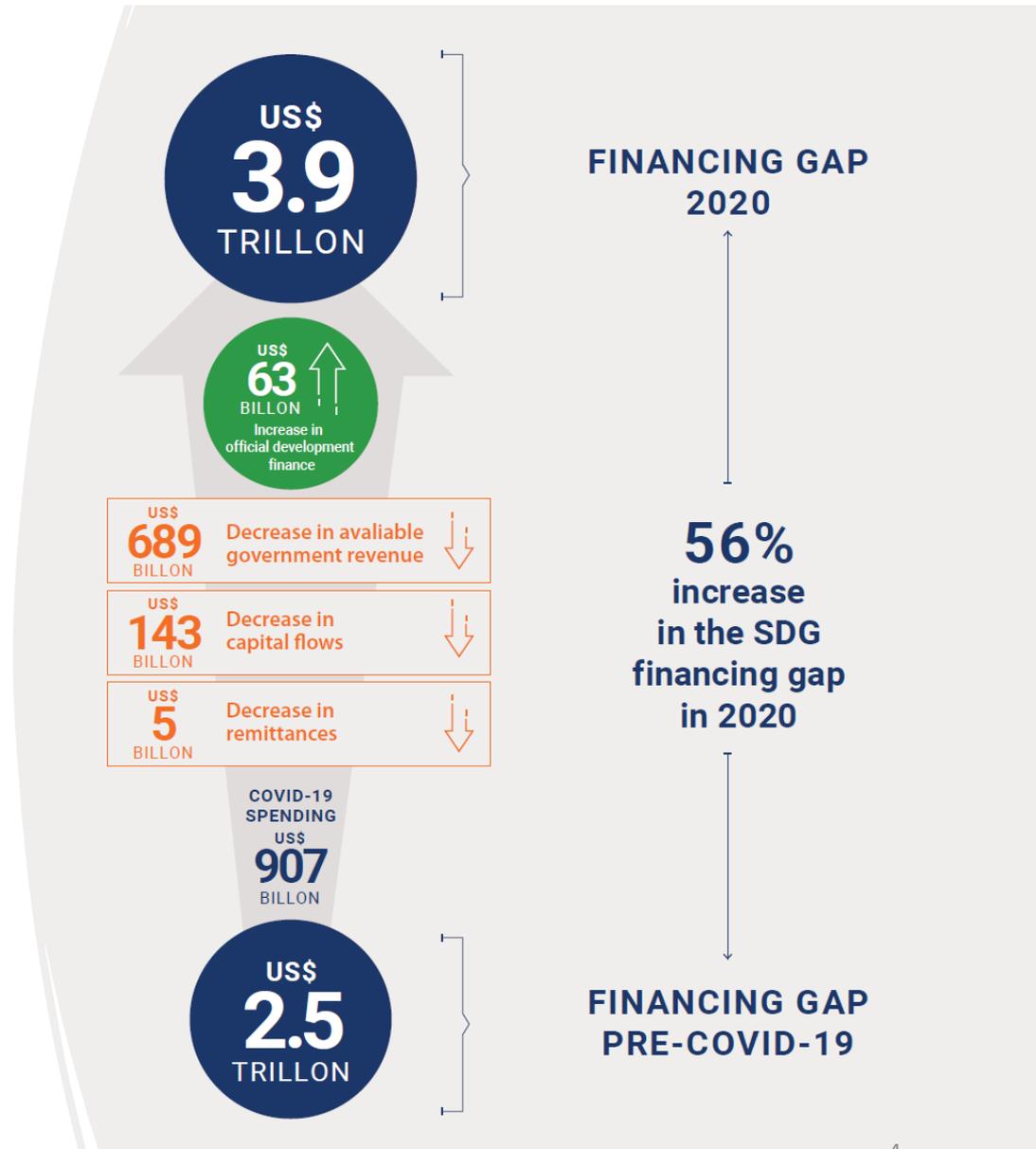
CURRENT STATE OF PROGRESS TOWARDS THE SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS BASED ON SELECT TARGETS



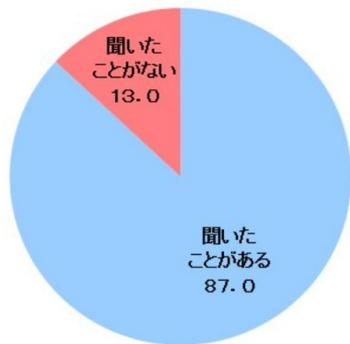
FINANCING GAP IN DEVELOPING COUNTRIES INCREASED BY AT LEAST 56% IN 2020

必要な資金

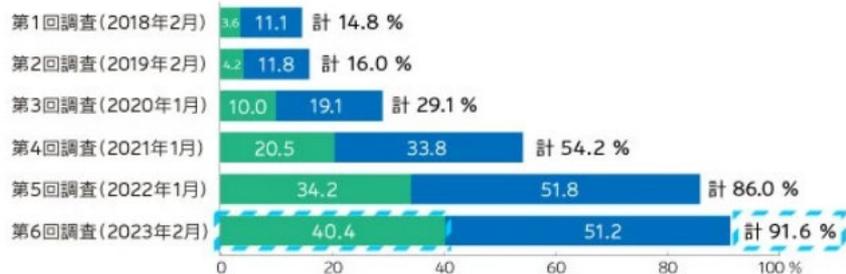
投資の1.1%を振り分ける必要



あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか
(n=5000)

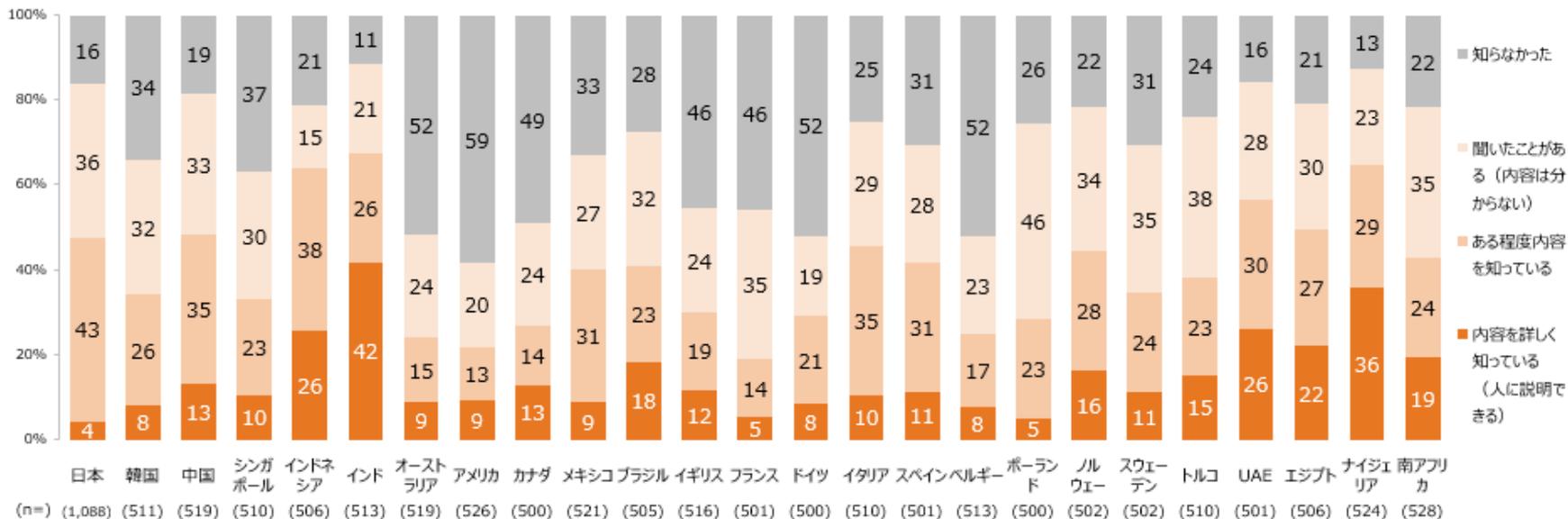


■ 内容まで含めて知っている ■ 内容はわからないが名前は聞いたことがある



朝日新聞第8回認知度調査より (2023年2月実施)

電通第6回「SDGsに関する生活者調査」(2022年2月実施)



公益財団法人旭硝子財団「生活者の環境危機意識調査」(日本と海外24か国で実施、2022年)

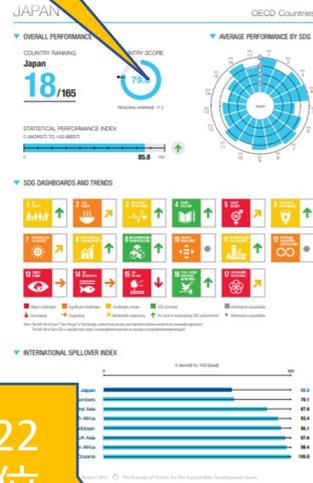
- 日本のSDGs認知度は最高レベル
- 日本においてSDGsの内容を知っている割合は最低レベル

日本の弱みは社会・環境のサステナビリティと経済の統合

2019
15位

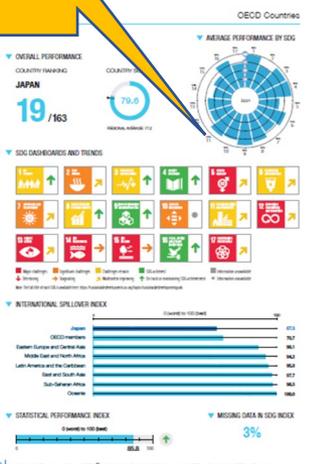
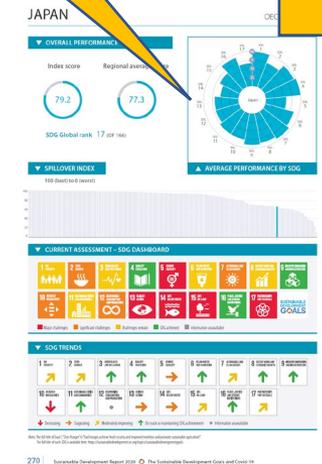
2021
18位

2023
21位



2020
17位

2022
19位



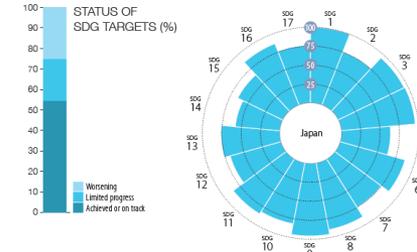
JAPAN

OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE



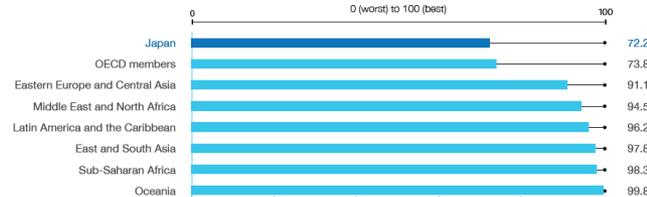
AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



SDG DASHBOARDS AND TRENDS



INTERNATIONAL SPILLOVER INDEX



STATISTICAL PERFORMANCE INDEX



MISSING DATA IN SDG INDEX

3%

Figure 2.3
The 2023 SDG Index: score and rank

Rank	Country	Score
1	Finland	86.8
2	Sweden	86.0
3	Denmark	85.7
4	Germany	83.4
5	Austria	82.3
6	France	82.0
7	Norway	82.0
8	Czechia	81.9
9	Poland	81.8
10	Estonia	81.7
11	United Kingdom	81.7
12	Croatia	81.5
13	Slovenia	81.0
14	Latvia	80.7
15	Switzerland	80.5
16	Spain	80.4
17	Ireland	80.1
18	Portugal	80.0
19	Belgium	79.5
20	Netherlands	79.4
21	Japan	79.4
22	Hungary	79.4
23	Slovak Republic	79.1
24	Italy	78.8
25	Moldova	78.6
26	Canada	78.5
27	New Zealand	78.4
28	Greece	78.4
29	Iceland	78.3
30	Chile	78.2

日本への注目

- 90%を超える最高の認知度（でも行動は…?）
- 科学誌Natureの特集号

nature

[View all journals](#)

[Search](#)

[Log in](#)

[Explore content](#) ▾

[About the journal](#) ▾

[Publish with us](#) ▾

[Subscribe](#)

[Sign up for alerts](#) 🔔

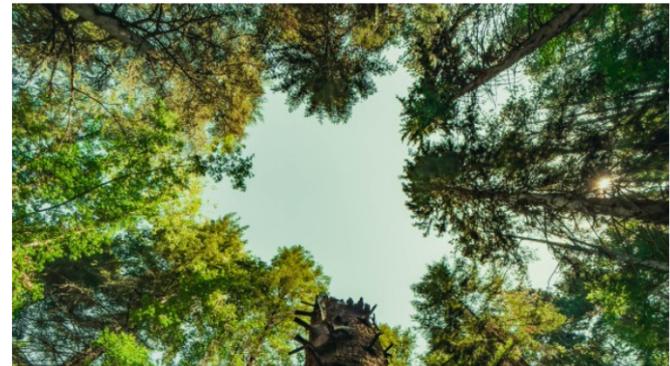
[RSS feed](#)

[nature](#) > focal point

Focal Point | 22 November 2023

Focal Point on the Sustainable Development Goals in Japan

In 2015, the world's nations agreed on a plan to build a better future — the 17 Sustainable Development Goals (SDGs). We are now half way to the 2030 deadline for achieving them. Japan is currently ranked 21st out of 166 nations that have comparable data for their progress. According to the nation's 2023 report card, the five SDGs it needs to focus on are Gender Equality, Responsible Consumption and Production, Climate Action, Life Below Water and Life on Land. Fortunately, Japan is producing cutting-edge science in some of these areas.



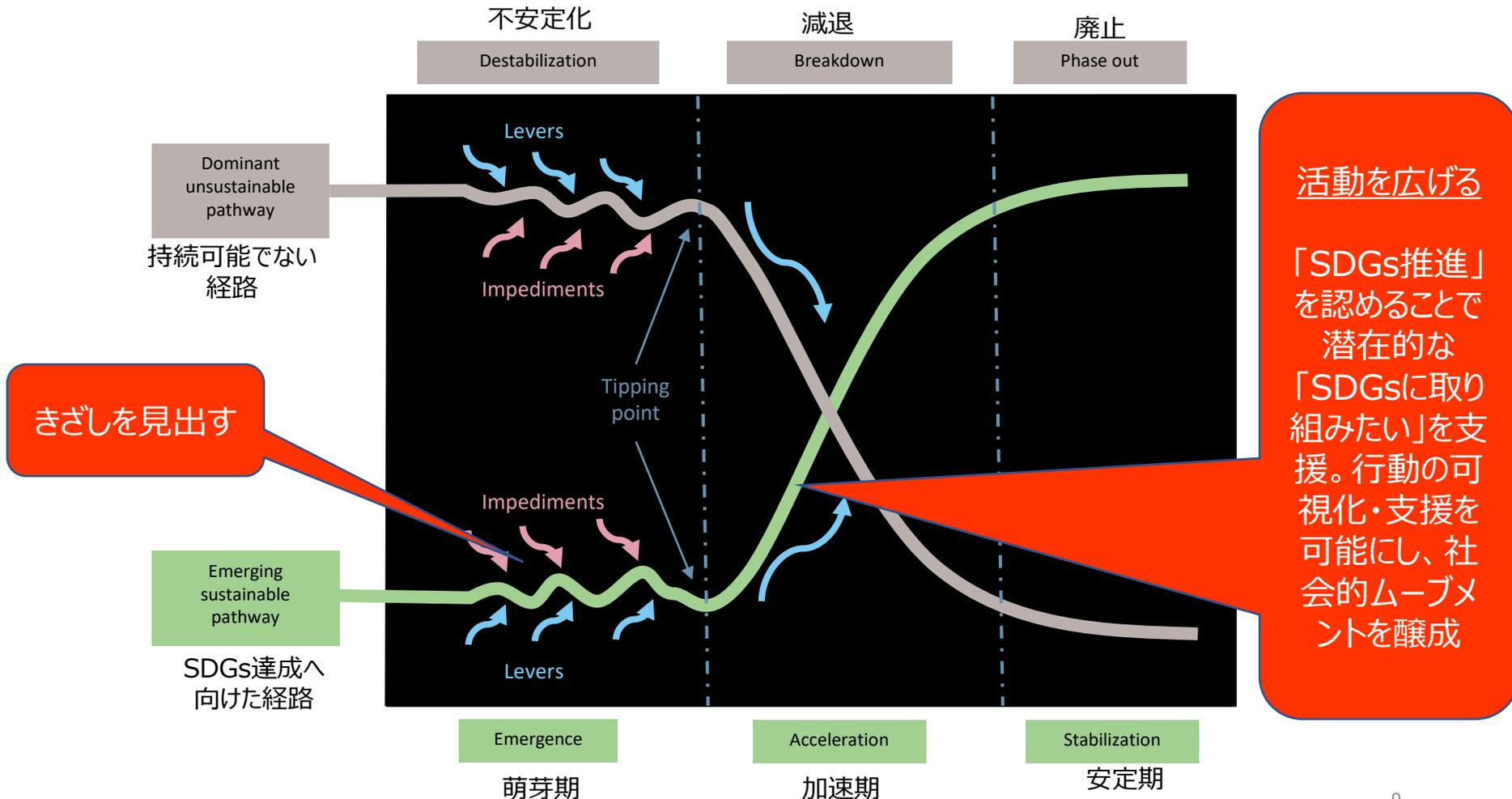


本年末実施指針改定へ向けた円卓会議からの提言（2023年3月17日総理大臣に提出）

1. 基本法制定と日本の目指すターゲット設定で、自主性に頼るSDGsから、「サステナビリティは待ったなし」と危機感を持った対応へ・・・日本に存在する潜在的な「取り組みたい」の顕在化へ
 - 着実な**予算化**（国・自治体・企業レベル；内閣府あるいは内閣官房に事務局を）による変革の「加速」
2. サステナビリティの動きの加速化で、この先に続く**国際競争力強化**へ：SDGsの本質は成長戦略と国際標準化競争
3. ポスト2030目標検討の主導

SDGs達成に必要なのはトランスフォーメーション【変革】

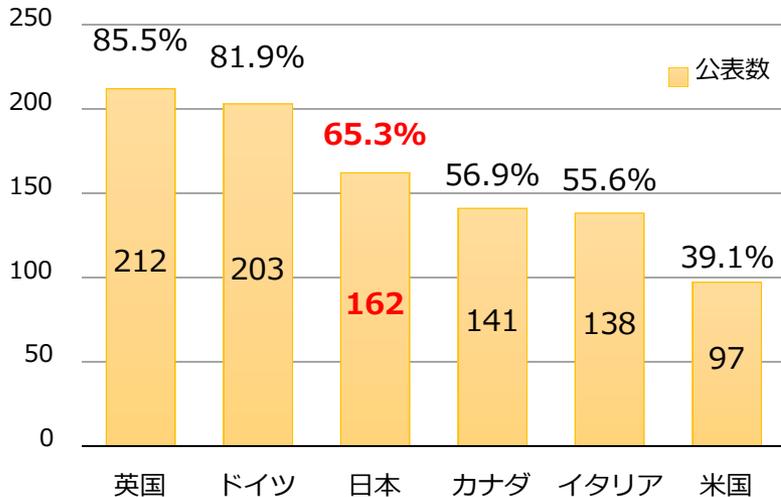
Global Sustainable Development Reportで提示する「Sカーブ」モデル



変革の加速へむけて

まず測る、そして開示する SDGグローバル指標の各国の公表状況

<G7：SDGグローバル指標の公表状況>



- ※ 総務省が各国ホームページで公表されている指標数を確認
- ※ 各国の公表率は2022年7月時点のもの
- ※ フランスは2018年から自国ホームページでグローバル指標の公表を取りやめ

英国及びドイツは、国連から示される算出方法どおりに算出しているものがある一方で、指標の解釈をそれぞれの国の文脈に当てはめ、代替するデータを活用することで、公表済みとしているものが多くある。

【例：指標17.13.1（マクロ経済ダッシュボード）】



本指標は商品貿易額、経常収支といった24の経済指標群で構成されているが、我が国では下位指標一つ一つについてデータを保有する府省を特定するなど公表に向けて緻密な調整を実施

<英国>



<https://sdgdata.gov.uk/>

本指標の作成方法等は整理せず、既存の経済指標が掲載されているサイトのリンクを掲載することで公表済みとしている。

<ドイツ>



<http://sdg-indikatoren.de/en/>

我が国と同様、指標の算出方法等を整理しているが、その内容はグローバルメタデータの下位指標と必ずしも一致していない。

進捗を測る:SDGsモニタリングツール(2)地域のSDGs達成度評価

⇒カスタマイズ/ローカル化

56指標一覧

ゴール	地域SDGs達成度指標	方向	都道府県	市区町村
SDG 1. 貧困	相対的貧困率 G2、G10の指標にも使用	-		
	生活保護受給世帯率	-		
	人口10万人当たりホームレス数	-		
SDG 2. 食料と農業	人口10万人当たり栄養失調による死亡者数	-		X
	栄養状態が不良な子どもの割合	-		
	人口1人当たり農業・漁業産出額	+		
	食料自給率(カロリーベース)	+		X
SDG 3. 健康	新生児死亡率	-		
	人口千人当たり若年死亡者数	-		
	人口10万人当たり自殺者数	-		X
	健康寿命	+		X
SDG 4. 教育	人口1万人当たり交通事故による死亡者数	-		
	保育園・幼稚園待機児童率	-		
	中学校卒業者の進学率	+		
	大学等進学におけるジェンダーパリティ指数	N		
SDG 5. ジェンダー	学力調査の平均正答率	+		X
	女性千人当たり性犯罪の認知件数	-		
	家事従事者に関するジェンダーパリティ指数 G10の指標にも使用	N		
SDG 6. 水資源	管理的職業のジェンダーパリティ指数	N		
	上水道普及率 G1、G11の指標にも使用	+		
	汚水処理人口普及率	+		
SDG 7. エネルギー	人口1人当たり水使用量(取水量ベース)	-		X
	電気を受電可能な人口比率	+		
	人口1人当たり再生可能エネルギー導入容量	+		
SDG 8. 雇用	最終エネルギー消費量当たり総生産	+		
	人口1人当たり市内総生産の伸び率	+		
	失業率	-		
	就労・就学・職業訓練を行っていない15-24歳人口割合	-		

ゴール	地域SDGs達成度指標	方向	都道府県	市区町村
SDG 9. 産業と革新	従業者1人当たり製造品付加価値額	+		
	付加価値額百万円当たりCO2排出量 G8の指標にも使用	-		
	人口10万人当たり特許出願数	+		
SDG 10. 不平等の削減	世帯所得300万円未満の世帯の割合の減少数	+		
	労働分配率	+		
	外国人労働者の失業率 G8の指標にも使用	-		
SDG 11. 持続可能な都市	最低居住水準未満の住宅に住む世帯の割合	-		
	公共交通カバー率	+		
	SPM濃度	-		
SDG 12. 責任ある消費	県内総生産当たり事業系ごみの排出量	-		
	有害廃棄物の処理率	+		
	リサイクル率	+		
SDG 13. 気候変動対策	人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数	-		
	人口10万人当たり熱中症搬送者数	-		X
	人口1人当たりCO2排出量	-		
SDG 14. 海洋生態系	河川BOD G6の指標にも使用	-		
	漁獲物・収穫物の販売金額変化率	+		
	人口10万人当たり漁業関連法令違反検挙件数	-		
SDG 15. 陸域生態系	森林面積の純変化率	+		
	人口10万人あたり動植物密猟・違法取引件数	-		
	確認された外来生物種数	-		
SDG 16. 平和	人口10万人当たり殺人事件の認知件数	-		
	小学生千人当たり児童虐待相談件数	-		
	選挙投票率	+		
SDG 17. パートナリシップ	財政力指数 G10の指標にも使用	+		
	インターネット普及率(4G・5G人口普及率)	+		
	SDGs認知度 G4、G12の指標にも使用	+		
	人口10万人当たり姉妹都市数	+		12

SDGs Today Japanによるデータ収集

- GIS（地理情報システム）を活用したSDGsの**進捗把握**とSDGsに関わる活動（**優良事例**）を紹介するSDGsに関する総合ポータルサイト



➤ 現状の把握：GISによるSDGsの達成状況の可視化

SDGsの達成度について、世界における日本の状況、日本における自治体の状況などを確認

➔ 日本や自治体のSDGsの進捗の実態把握に役立てて頂く

➤ Storytelling：SDGsへの取り組み

SDGsに関連するさまざまな取り組みを紹介（優良事例）

➔ みんなはどのような取り組みを行っているのか、ご自身のSDGs活動の参考にして頂く

<https://portal-sdgstodayjapan.hub.arcgis.com/>

事業を通じた対応

1. マネジメントでの共通言語
 - 企業内対話・業界を超えた理解・コラボレーションの機会
 - 国際展開
2. 中長期経営計画への反映
 - バックキャストによるイノベーション創出
 - 長期的展開の先取り=ビジネスチャンスの獲得
 - 中期を見越した経営（例：2017年SDG14→2019にかけた脱プラ）
3. リスクへの対応
 - マネジメントリスク・レピュテーションリスク（児童労働、働き方など）
4. システムとしての総合的視点からの課題解決=ビジネスチャンスの実装
 - 17目標、169ターゲットから総合的に「次のチャンス」を抽出
5. ESG投資対応
 - ESG投資家の目線にはSDGsへの企業の対応
6. 基準の標準化
7. 採用／ブランディング・企業イメージ向上

目標から始める取り組み

来し方行く末を考える

測ることで変える

「ルールがない」「自主的取り組み」であることの意味



差がつきやすい

差をいかに効果的に測り、提示し、改善していくか



慶應義塾大学SFC研究所×SDG・ラボ / 第一生命保険株式会社

SDGsに取り組む意義

SDGsの17の目標は「未来の世界のかたち」
その取り組みは「世のため・人のため・未来のため」

環境に役立つ



例えば

脱炭素、脱プラスチック、省エネ、節水、
節電、再生可能エネルギー、リサイクル、
ペーパーレス化、廃棄物削減

人の役に立つ



例えば

健康経営、人材育成、女性活躍推進、
男性の育児休暇取得推進、仕事と育児の両立、
仕事と介護の両立、障がい者雇用、
外国人雇用

社会に役立つ



例えば

食品ロス削減、災害対策、開発途上国に
貢献する事業、フェアトレード、
ハラスメント撲滅、事業承継対策

SDGsに取り組むメリット

SDGsは、取組み・活動次第で、あらゆるステークホルダーへのアピールポイントとなります。
新規取引の増加や売り上げの拡大、また、優秀な人材確保など、さまざまな経営的メリットが期待できます。

環境、人、社会の課題を見つけて、SDGsに取り組む

ひろがる

取引先や顧客・採用が広がる



もうかる

売り上げが拡大する



役に立つ

社会に貢献できる



(ステークホルダーとは) 企業が活動を行うことで直接的・間接的に影響し合う人や企業・団体のことです。
株主や消費者だけでなく、経営者・従業員・取引先・競合相手・企業・公共団体など、あらゆる利害関係者を指します。

SDGsに取組まないデメリット

ステークホルダーからの支持が得られにくくなります。
その結果、顧客や取引先の開拓、採用活動など、さまざまな経営上のデメリットが生じる可能性があります。

SDGsに取組まないことで、負の影響を受ける

あつまらないリスク

求人の応募・資金があつまらない



えらばれないリスク

自治体・取引先・顧客・
サプライチェーンからえらばれない



きづかないリスク

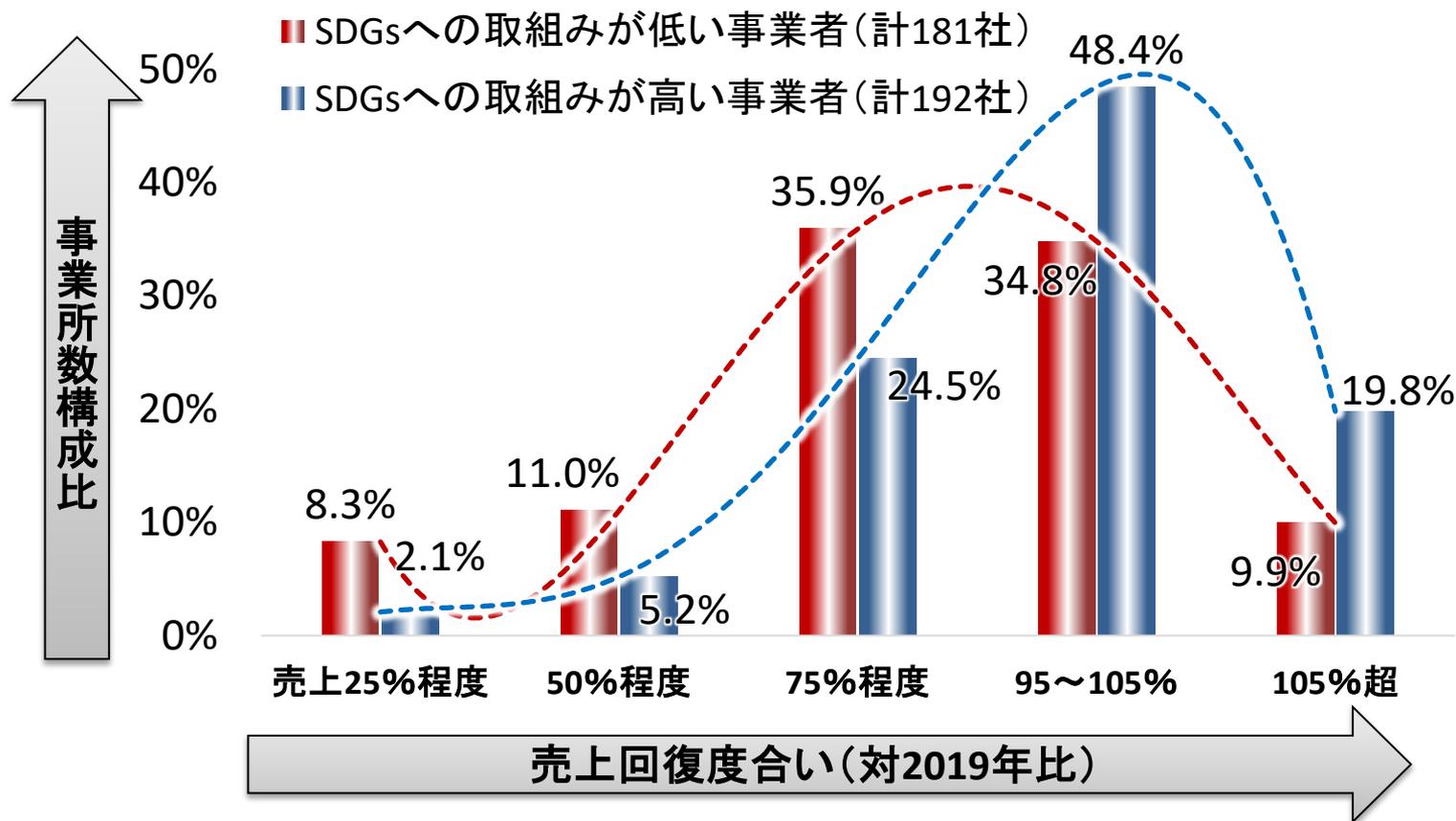
社会課題解決などの
新たなビジネスチャンスや
将来発生するリスクにきづかない



SDGsと経営課題 SDGsへの意識とコロナ禍前からの売上回復度合い

- 下記のグラフは、SDGsへの意識が高い先と低い先の、**コロナ禍前からの売上回復度合い**の分布を見たものである。
- SDGsへの**意識が高い事業者**の方が低い事業者に比べ、コロナ禍前と比較した売上が**95%以上**となっている先の**構成比が高く**、分布の山が全体的に**右側**に寄っている。

SDGsと売上（対2019年比）の関係



資料:(公財)地方経済総合研究所「2022年 事業者アンケート調査」,2022年5月

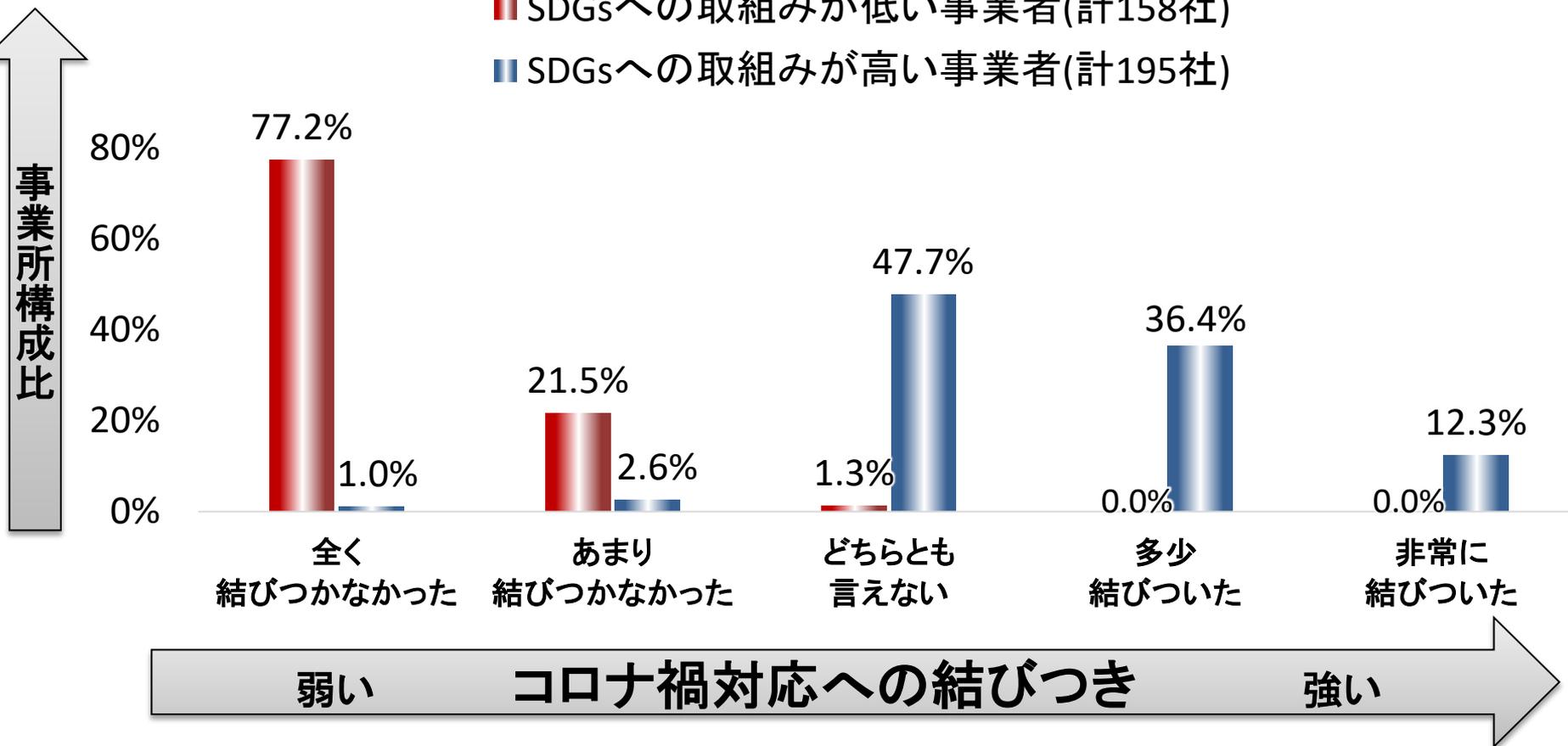
SDGsと経営課題 SDGsへの意識とコロナ禍への対応

- 同様のグルーピングにて、「SDGsへの対応がコロナ禍への対応に結びついたか」を尋ねた。
- SDGsへの意識が高い事業者は、「多少結びついた」「非常に結びついた」合計で**約5割**となる一方、低い事業者は「あまり結びつかなかった」「全く結びつかなかった」合計で**98.7%**となり、**ほぼ全先**を占めた。

SDGsへの対応がコロナ禍への対応に結びついたか

■ SDGsへの取組みが低い事業者(計158社)

■ SDGsへの取組みが高い事業者(計195社)



資料:(公財)地方経済総合研究所「2022年 事業者アンケート調査」,2022年5月

変革へ向けたチャレンジ：JAL2030便の例



JAPAN AIRLINES



本邦初！CO2排出量実質ゼロフライト

- 省燃費機材A350での運航
- SAFの搭載
- カーボンオフセットプログラムの提供
- 運航の工夫・運航時間の延伸など

NESTE MY
Sustainable Aviation Fuel

Powered by **CHOPOSE**

により、本邦初のCO2排出量実質ゼロフライトを実現。
2030年、その先を見据えた未来のフライトを
一足先にご体験いただけます！



限られた資源の有効利用

- 整備士考案「廃材で作られたTAGをプレゼント
- 紙カップの完全リサイクル化
- 機内でご提供するアイテム(新規石油由来プラ容器・包材)の紙化やバイオマス化

をあらゆる場面で活用。
資源の有効利用を1つでも多く実現します！



サステナブルな未来の機内食

F
cls
J/
Yc
ls

- SDGs～未来の食材50からの一皿～として水の消費やからだに配慮されたメニュー
- 環境負荷が低く、植物性原材料の大豆ミートや栄養価にすぐれた「スピルリナ」を練り込んだバンズ

使ったハンバーガー

その他の食材、飲料も環境負荷低減や人権に配慮したものを
ご用意！

D&Iの推進

障がいのある社員の才能や能力を活かした新たな活躍領域の拡大として、機内アナウンスやトーク内容の手話通訳をフライト内で実施します！

地域活性化

- 沖縄の文化・自然・未来につながるツアーの提供
- 宮古島とコラボして製造したタンブラーをプレゼント
- 宿泊先ホテルでのサステナブルな取り組みを体感

により、沖縄の皆さんと一緒に地域社会の活性化に貢献します！



首里城ぐるっとツアー



やんばるの森ネイチャーガイドツアー



宮古島のサトウキビの搾りかすから製造

SDGs 未来都市等選定都市一覧

別紙4

2018年選定 (全29都市)		2019年選定 (全31都市)		2020年選定 (全33都市)		2021年選定 (全31都市)		2022年選定 (全30都市)		2023年選定 (全28都市)		
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	
北海道	★北海道	岩手県	陸前高田市	岩手県	岩手町	北海道	上士幌町	宮城県	大崎市	青森県	弘前市	
	札幌市	福島県	郡山市	宮城県	仙台市	岩手県	一関市	秋田県	大仙市	群馬県	桐生市	
	二七〇町	栃木県	宇都宮市	宮城県	石巻市	山形県	米沢市	山形県	長井市	埼玉県	鴻巣市	
	下川町	群馬県	みなかみ町	山形県	鶴岡市	福島県	福島市	埼玉県	戸田市	埼玉県	深谷市	
宮城県	東松島市	埼玉県	さいたま市	埼玉県	春日部市	茨城県	境町	千葉県	入間市	千葉県	木更津市	
秋田県	仙北市	東京都	日野市	東京都	豊島区	群馬県	★群馬県	千葉県	★松戸市	東京都	★大田区	
山形県	飯豊町	神奈川県	川崎市	神奈川県	相模原市	埼玉県	★埼玉県	東京都	板橋区	東京都	★東村山市	
茨城県	つくば市	神奈川県	★小田原市	石川県	★金沢市	千葉県	市原市	東京都	★足立区	富山県	氷見市	
神奈川県	★神奈川県	新潟県	見附市	石川県	加賀市	東京都	★墨田区	新潟県	★新潟県	石川県	七尾市	
	横浜市	富山県	★富山県		能美市	江戸川区	江戸川区		新潟市	石川県	★野々市市	石川県
	鎌倉市	富山県	南砺市	長野県	大町市	神奈川県	松田町		佐渡市	福井県	大野市	福井県
富山県	富山市	石川県	小松市	長野県	★岐阜県	新潟県	妙高市	石川県	輪島市	山梨県	★山梨県	
石川県	珠洲市	福井県	★鯖江市	静岡県	富士市	福井県	★福井県	長野県	上田市	長野県	松本市	
	白山市	愛知県	★愛知県		掛川市	長野市	長野市		根羽村	岐阜県	★恵那市	長野県
長野県	★長野県	愛知県	名古屋市	愛知県	岡崎市	長野県	伊那市	静岡県	御殿場市	京都府	宮津市	
静岡県	静岡市	滋賀県	★滋賀県	三重県	★三重県	岐阜県	岐阜市	静岡県	御殿場市	兵庫県	★兵庫県	
	浜松市		豊橋市		いなべ市		伊那市		愛知県		安城市	兵庫県
愛知県	豊田市	京都府	舞鶴市	滋賀県	湖南市	岐阜県	美濃加茂市	大阪府	★阪南市	大阪府	★多可町	
三重県	志摩市	奈良県	生駒市	京都府	★亀岡市	静岡県	富士宮市	兵庫県	加西市	和歌山県	田辺市	
大阪府	堺市		三郷町	大阪府	★大阪府・大阪市	愛知県	小牧市		多可町		和歌山県	★鳥取県
奈良県	十津川村		広陵町		豊中市	富田林市	京都府	京都市	和歌山県	田辺市	鳥取県	★鳥取県
岡山県	岡山市	和歌山県	和歌山市	兵庫県	明石市	京都府	京丹後市	鳥取県	徳島市	徳島県	徳島市	
	真庭市		鳥取県		智頭町	倉敷市	大阪府		能勢町		徳島県	美波町
広島県	★広島県	鳥取県	日南町	岡山県	倉敷市	大阪府	姫路市	兵庫県	愛媛県	新居浜市	愛媛県	新居浜市
山口県	宇部市	岡山県	西粟倉村	広島県	東広島市	兵庫県	西脇市		福岡県	直方市	福岡県	直方市
徳島県	上勝町	福岡県	大牟田市	香川県	三豊市	鳥取県	鳥取市	熊本県	八代市	熊本県		八代市
福岡県	北九州市		福岡市	福岡市	愛媛県	松山市	愛媛県		西条市		熊本県	上天草市
長崎県	壱岐市	熊本県	熊本市	高知県	土佐町	愛媛県	西条市	鹿児島県	南阿蘇村	鹿児島県	薩摩川内市	
熊本県	小国町	鹿児島県	大崎町	福岡県	宗像市	熊本県	菊池市		鹿児島県		薩摩川内市	鹿児島県
		鹿児島県	徳之島町	長崎県	対馬市	熊本県	山都町					
		沖縄県	恩納村	熊本県	水俣市	沖縄県	★沖縄県					
		鹿児島県	鹿児島市	鹿児島県	鹿児島市							
		沖縄県	石垣市	沖縄県	石垣市							

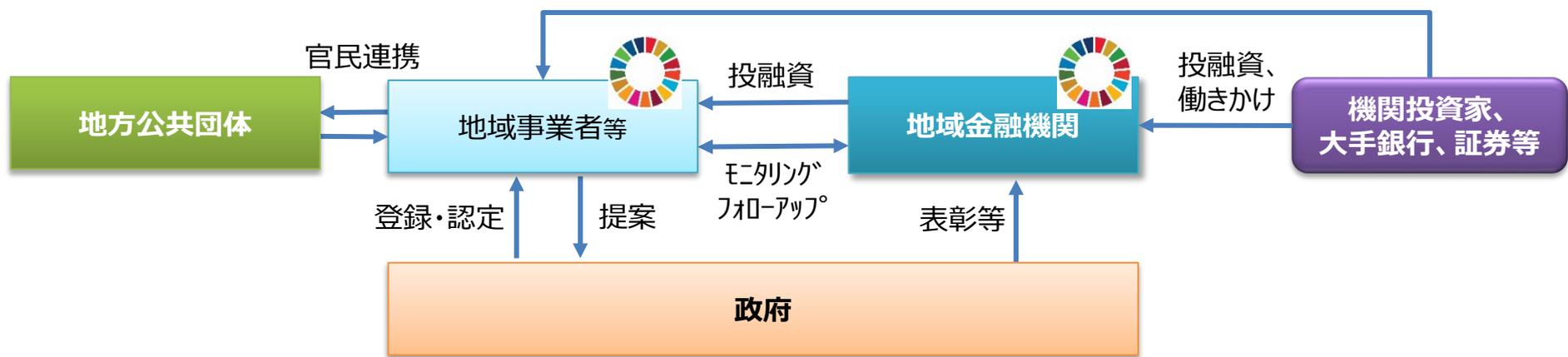
累計

SDGs 未来都市
自治体SDGsモデル事業

182都市 (183自治体)
60都市

※各年度都道府県・市区町村コード順
※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体
(新潟県佐渡市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2023年度)
※★はSDGs未来都市のうち都道府県

地方創生SDGs金融フレームワーク



フェーズ1 地域事業者のSDGs達成に向けた取組の見える化

- 「登録/認定制度」を構築し、地域事業者のSDGs達成に向けた取組を見える化
- 登録/認定制度を通じて幅広い地域事業者の参画を促し、SDGs達成に取り組む主体のすそ野を拡大

フェーズ2 SDGsを通じた地域金融機関と地域事業者の連携促進

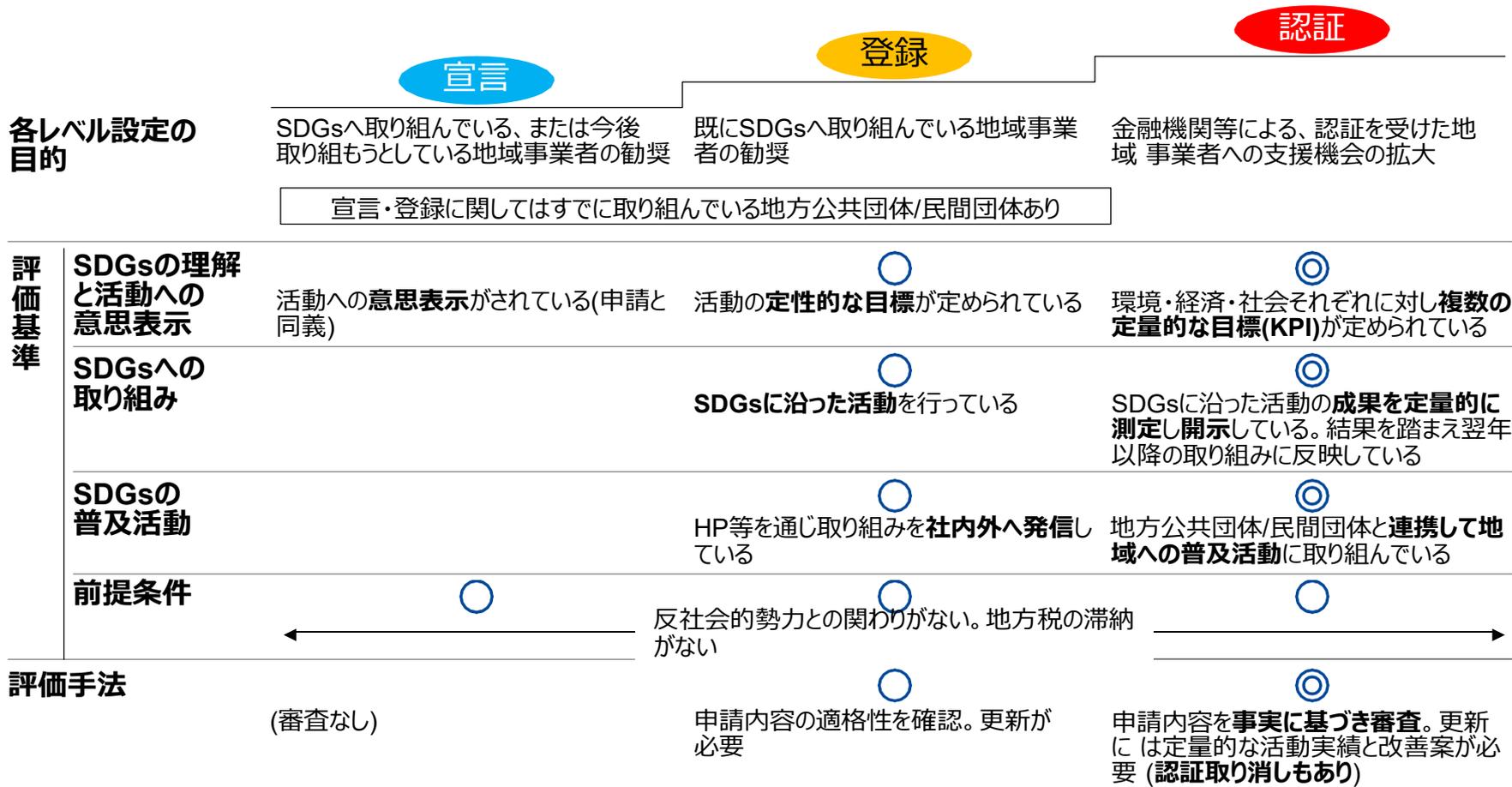
- 地域金融機関が、与信先企業に対してモニタリング、フォローアップを実施することで育成・成長に貢献
- モニタリングを通じて得られた知見を自らの目利き力やコンサルティング能力等の強化に活かす

フェーズ3 SDGsを通じた地域金融機関等と機関投資家・大手銀行・証券会社等の連携促進

- フェーズ2の実践を通じて優れた取組を行った地域金融機関を政府が表彰する制度を創設
- 機関投資家等と地域金融機関の協調・協業を推進

② 宣言・登録・認証で広げる：地方創生の例

各登録・認証団体(地方公共団体/民間団体)は、評価基準・評価手法に基づきレベル「宣言」「登録」「認証」の三段階に分かれる(名称は仮)



関東経済産業局／長野県のモデル：登録・認定制度

SDGs推進企業を認定する

SDGs企業たる企業活動



SDGs企業たる企業活動の基準

- 目標にコミットしているか？【1】
- 経済・社会・環境面で（あるいはそれらを統合した）目標があるか？【2】
 - ✓ 「コミット」をどう測るか？制度設計で測る？
- 目標進捗を測っているか？【3】
 - ✓ 進捗が芳しくない場合どうするか？

SDGs企業としての実績

- 「SDGsに向かっている」ことを示す最低限の実績をチェック
- 認証制度でこれらを代替できる可能性もある

SDGs企業としてのフィロソフィー
や実績

<認定企業イメージ>

ex. 印刷中小企業者が、[FSC森林認証紙やノンVOCインキ（石油系溶剤0%）を使用した環境印刷に取り組む](#)とともに、[\[4か国語版お薬手帳\]等のSDGsを意識した新製品開発も実施](#)。さらには、[非正規労働者から正規労働者への登用制度を設け、従業員が活躍できる職場環境を整備（職場いきいきアドバンスカンパニー制度認証取得で代替可）](#)している。



SDGs先進モデルの創造と基準づくり

<http://xsdg.jp/>

xSDGコンソーシアム：SDGsを本気で推進する企業や自治体のコンソーシアム

- 共同研究：優良事例創出
- 分科会による諸問題検討
 - 未来財務情報xSDG分科会：非財務情報とSDGsとの関係を検討
 - 法とSDGs分科会：SDGs実現における法の役割、法律や契約との関係におけるSDGs、などを検討
- お悩み相談・マッチング
- 勉強会

Vision Sharing Partners (20社、6自治体)



目指すSDGs認証制度

目的

(まずは) 中小企業をメインターゲットに、
「SDGs達成に向けた行動 = サステナブルな企業行動」
が如何なるものかを周知・定着すること

留意点

- いわゆる「SDGsウォッシュ」を防ぎながら、**難しくなりすぎない**程度に認証制度を構築
- 既存の自治体SDGs認証制度との連携を見据えつつ、標準的な認証制度を確立
- 関係省庁（オブザーバー）の意見を積極的に取り込み、政策との整合性ある制度構築を行いつつ、パートナーシップによる制度を実現

【メンバー】

プロジェクトマネージャ

佐久間 信哉

(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授)

プロジェクトアソシエイト

小坂 真理

(東海大学教養学部人間環境学科 准教授)

事務局長

松田 孝裕 (株式会社 MSS 代表取締役社長)

[アドバイザー]

関係省庁、自治体など

[認証制度検討専門家委員会 委員] (敬称略)

委員長

蟹江 憲史 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、xSDG・ラボ代表)

今田 克司 ((一財)SIMI代表理事))

石井直樹 (石井造園株式会社代表取締役)

大川 哲郎 (株式会社大川印刷代表取締役社長)

川廷 昌弘 (GCNJ SDGsタスクフォースリーダー)

国谷 裕子 (ジャーナリスト、東京藝術大学理事、慶應義塾大学特別招聘教授)

澁澤 健 (コモンズ投信株式会社取締役会長、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役)

清水 亘 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業 パートナー弁護士)

高瀬 香絵 (自然エネルギー財団 シニアコーディネーター)

吉高 まり (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科非常勤講師、一般社団法人バーチャデザイン代表理事)

和田 恵 (SDGs-SWY 共同代表)

世界が続いていくためにトランスフォーメーション(変革)の加速は 可能であり、不可欠

- 目指すところを明らかにすることで行動のガイダンスとなる
- 変革へ向けたテコを動かし、障害を取り除く
 - そのための科学(エビデンス)の活用
- 次なる災害・危機への備えとしてSDGsは重要

2030年以降も続く目標への取り組み